

メッセージ付き 花火募集

~あなたの花火を
打ち上げませんか~



8月1日(木)に開催される「第117回水郷おみがわ花火大会」では、メッセージ付き花火を募集しています。「結婚記念」「合格祈願」などの思いを込め、夏の夜空に大輪の華を咲かせてみませんか。

■対象 個人・グループ(営利目的は不可)

■協賛金 10,000円~

■内容 50文字以内の簡潔なメッセージ(お気に入りのBGMも可)

申7月5日(金)までに商工観光課 ☎(82)1117

花火大会は観覧席で

眼前に打ち上げられる数千発の花火を観覧席で楽しみませんか。

■協賛金 16,000円(6人用)

申7月1日(月)から香取市商工会 ☎(82)3307

香取産

Vol.85

「おおとじんじゃ
大戸神社」

雨乞行事に使われた鎌倉時代の舞楽面を伝える古社



▲羅龍王面



▲納曾利面

大戸神社は、大戸字本宮に鎮座しています。祭神は、天皇40年です。日本武尊が東征のおり、勧請したとあります。最初は、現在の大戸字白幡周辺に鎮座したと伝えられ、その跡地には明治初年まで周囲に巡らせた土堤が残っています。その後、孝徳天皇元年に現在の地に遷歴したと社伝にあります。明治の初め頃に、県社に列せられ、一時期は香取郡中の総鎮守でした。現在は近郷50余地区が氏子となっています。社殿は、本殿・中殿・拝殿からなっています。現在の建物は、宝永4年(1707)に徳川綱吉(第5代徳川将軍)により改築されたものです。大戸神社には、舞楽に用いられた面が伝えられています。納曾利面2面は、ほぼ同じ大きさで、縦19cm、横17cmで

羅龍王面は、縦30・3cm、横19cmの大きさで、頭上に翼をもつた龍を乗せています。羅龍王面は、「嘉暦2年戊辰」の紀年銘があります。戌辰は嘉暦3年の干支です。嘉暦2年は1327年です。羅龍王とは、仏教の八龍王の一人です。妙法蓮華經の序品第一などに記されています。面は、雨乞いの儀式に使用されたといわれています。その昔、干ばつに際し、雨を待ち望む人々の強い願いが込められたことでしょう。この3面は、昭和30年12月15日に千葉県の有形文化財に指定されています。

原発の憂き世へ眩し春の潮
評 夏燕は子育ての終わる頃の燕を言う。夏から秋にかけて高空を好んで飛ぶ。南の国に帰る為に羽根に力をつけるという。そろそろ蔵町との別れも近づく。燕達の眼差しを何となく愛しく思う作者である。

—香取俳壇— 増田 斗志選
歳町の歳より低く夏つばめ
郡 香織(下小川)
水張田に声の響きて揚ひばり
奥村 利夫(一ノ分目)
遠山を借りて写せりつづじ園
岡野 美和子(大島)
一片の雲なき空や花まつり
高木 久英(府馬)
盆栽の壺から作り五月展
釜谷 けい子(三島)
—香取歌壇— 稲村 恒次選
紅色のアツツ桜の咲く頃は戦地に果てし伯父
夢にたつ
八角 厚子(鳥羽)
尾形 哲雄(木内)

評・アツツ桜は南アフリカ原産だが、先の大戦で日本軍が占領、後に米軍の反撃で守備隊が玉砕したアツツ島に因む名という。伯父君はこの時戦死されたのだろう。5月頃紅色に咲くこの花に惚れられるのだ。

幼虫が食べる腐葉土の追加や適度な水やりなどを忘れずに行い、無事成虫にしたいと思います。
(S)

暮れ初むるさ庭にだれかを呼ぶように花あかりして山吹の咲く
水入りて空を映せる早苗田に光とかしてさざ波の立つ
葉のみどり濃くなりてきぬ庭の梅はや円ら実の夏をおわす
伊藤 文子(神生)
木内 幸子(八日市場)
土方 としお(みずほ台)
美談にはならぬ今年のわが桜あらしに巻かれ三分で終わる
齊藤 ミサエ(小川)

文芸

作品募集

はがき一枚に俳句2句・短歌2首のどちらかと、本名・住所・電話番号を記入し、〒287-8501 広報かとり「俳句」または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

広報
かとり

平成25年(2013)6月15日号 No.174
編集 香取市役所総務部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp

今月の納期限
7月1日(月)

市県民税 (1期)

編集後記